

那珂川だより

那珂川緊急治水対策プロジェクトに盛り込まれた河川対策の進捗やソフト対策の検討状況をお知らせします

令和6年12月
第54号



ともに築こうまち・みらい

編集・発行
国土交通省 常陸河川国道事務所

工事の進捗状況 ～ R5 那珂川左岸下境上流地区築堤工事・R5 那珂川左岸下境下流地区築堤工事～

○那珂川左岸の栃木県那須烏山市下境地先において、霞堤の整備を進めております。

○R5 那珂川左岸下境上流地区築堤工事（延長＝約280m）およびR5 那珂川左岸下境下流地区築堤工事（延長＝約340m）を実施しており、霞堤の整備により、那珂川の出水による洪水被害を軽減します。



築堤予定箇所
(那須烏山市下境地先)



かすみでい
霞堤とは？



霞堤とは、堤防に開口部を設けた不連続な堤防のことです。

洪水時には、開口部から那珂川の水が緩やかに浸水し、洪水が終わると浸水した水が自然に排出されます。

霞堤整備後（洪水時）



氾濫から
緩やかな浸水へ

霞堤整備後（洪水後）



河川水位の低下に
併せて速やかに
浸水した範囲が
縮小します

若手技術者インタビュー／（株）浜屋組

○今回は、R5 那珂川左岸下境下流地区築堤工事を受注した（株）浜屋組の若手技術者である菊池直胤さんにお話をうかがいました。



若手技術者（入社2年目）
菊池 直胤さん

趣味や私生活で経験したことで、仕事に活かしていることは？

小さい頃からやっていた野球で培った根性で、失敗してもめげることなく、日々頑張っています。

建設業界に入ろうと思ったきっかけを教えてください。

高校で土木系について学んでいくうちに、人々の暮らしを支えるものを作ることにとても魅力を感じ、この仕事に携わりたいと思ったからです。

工事を行う上で心がけていることはありますか？

無事故・無災害で工事を完成させることを第一に心がけ、そのほかにも作業員さんへのコミュニケーションを心がけています。



◆令和6年度 那珂川・久慈川水質事故対応訓練を行いました



- 11月20日、令和6年度那珂川・久慈川水質事故対応訓練を久慈川水系の里川において行いました。
- この訓練は、油や有害物質の流出など水質事故が発生した場合の初動対応に必要となる技術の向上を図るための訓練です。
- 河川における水質事故への対応は、河川管理において重要な課題の一つです。水質事故を発生させないこと、発生時には迅速かつ的確に対応し被害を最小に抑えることが重要になります。
- 訓練には当事務所職員の他、茨城県、栃木県、那珂川・久慈川関係市町村、維持工事の受注者等、合計114名が参加し、簡易水質測定その他、特に発生することの多い油類の流出事故を想定し、油種の識別方法、オイルフェンスの設置方法などの実習・訓練を行いました。



オイルフェンス設置訓練



油種の識別実習 簡易水質調査実習

◆那珂川においてニホンコウノトリの飛来を確認しました

- 本年度、文化財保護法に基づく学術的価値の最も高い特別天然記念物に指定されているニホンコウノトリが那珂川水系に飛来しました。
- ニホンコウノトリは絶滅が危ぶまれる希少鳥類です。江戸時代には全国各地に数多く生息していたことや、里山の生態系ピラミッドの頂点に立つことなどから、自然豊かな水辺や湿地の指標種とされています。
- 当事務所では今後も良好な河川環境を保全するため、多角的な視点を取り入れつつ河川管理に取り組んでいきます。



餌を探すコウノトリ

◆那珂川緊急治水対策プロジェクト施工現場見学会を開催しました

- 11月21日、那珂川流域において那珂川緊急治水対策プロジェクト関連の現場見学会を開催しました。
- この見学会は、令和元年東日本台風から5年を迎えるにあたり、これまでの那珂川緊急治水対策プロジェクトの取組を広く知っていただくために報道関係者を対象に行ったものです。
- 築堤や河道掘削、大場遊水地のプロジェクトの主要事業の施工現場のほか、「土地利用・住まい方の工夫の検討」として大洗町が進めている防災集団移転促進事業の現場では、大洗町の担当者より、これまでの経緯や近況の説明を頂きました。



大洗町の担当者より防災集団移転促進事業について説明



国土交通省 関東地方整備局
常陸河川国道事務所
流域治水課(旧調査第一課)
TEL:029-240-4069

〒310-0851
茨城県水戸市千波町1962-2

プロジェクトに関するお問い合わせはこちらです



那珂川緊急治水対策プロジェクト

検索



▲ こちらのQRコードからもHPにアクセスできます。